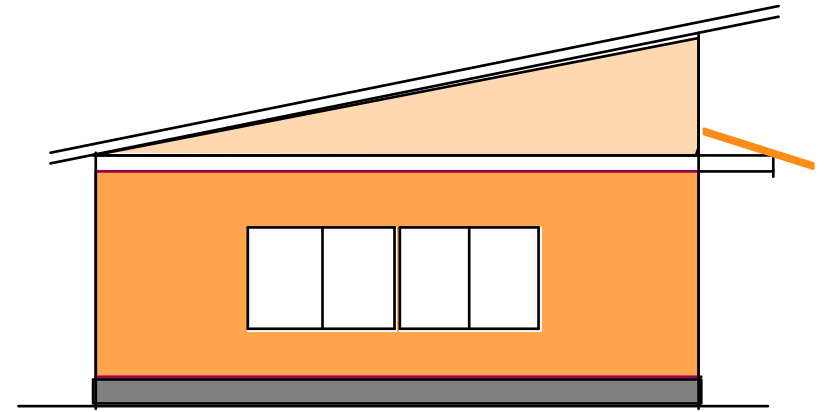
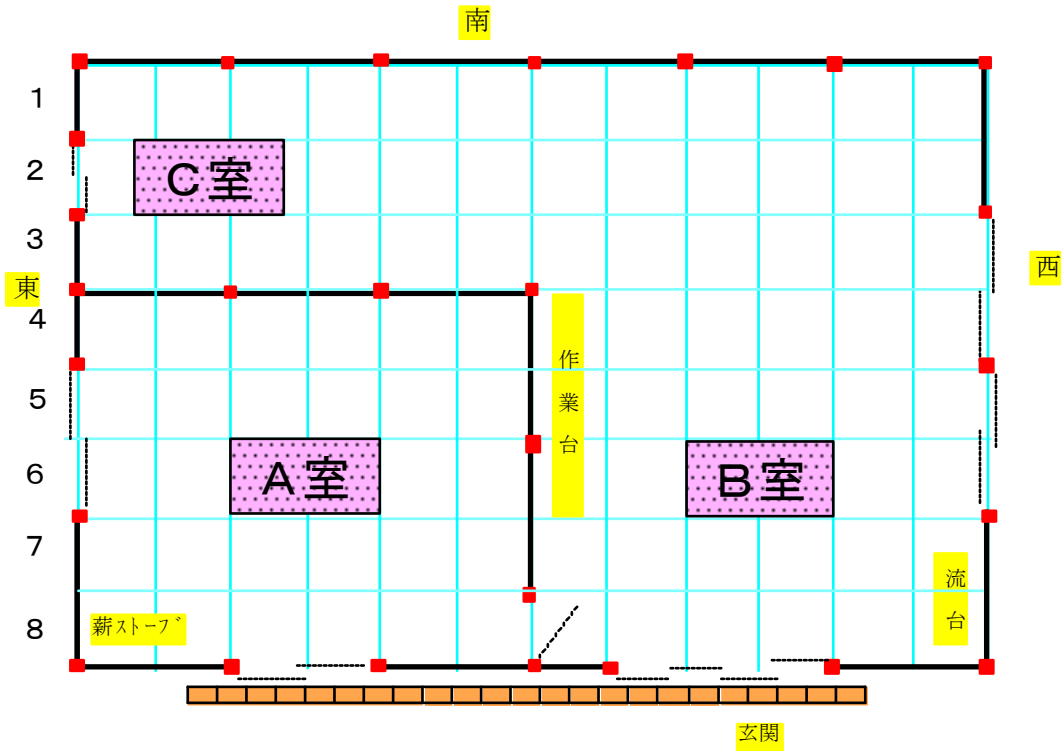
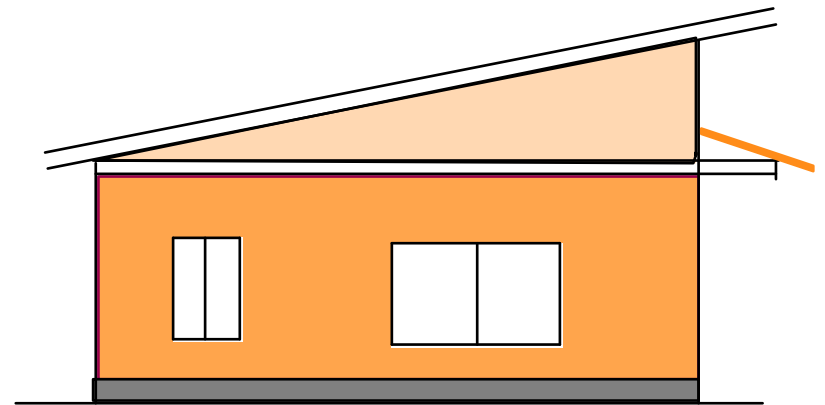


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

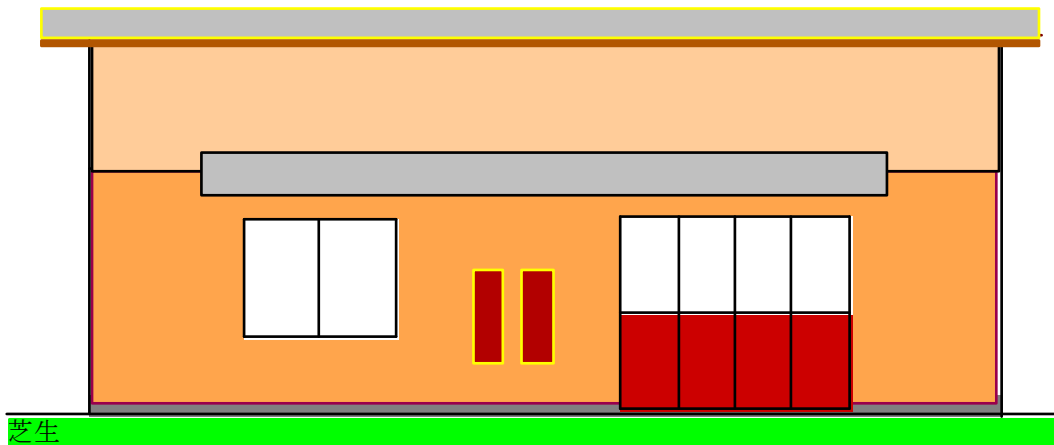
8 7 6 5 4 3 2 1



西からみた姿図



東からみた姿図



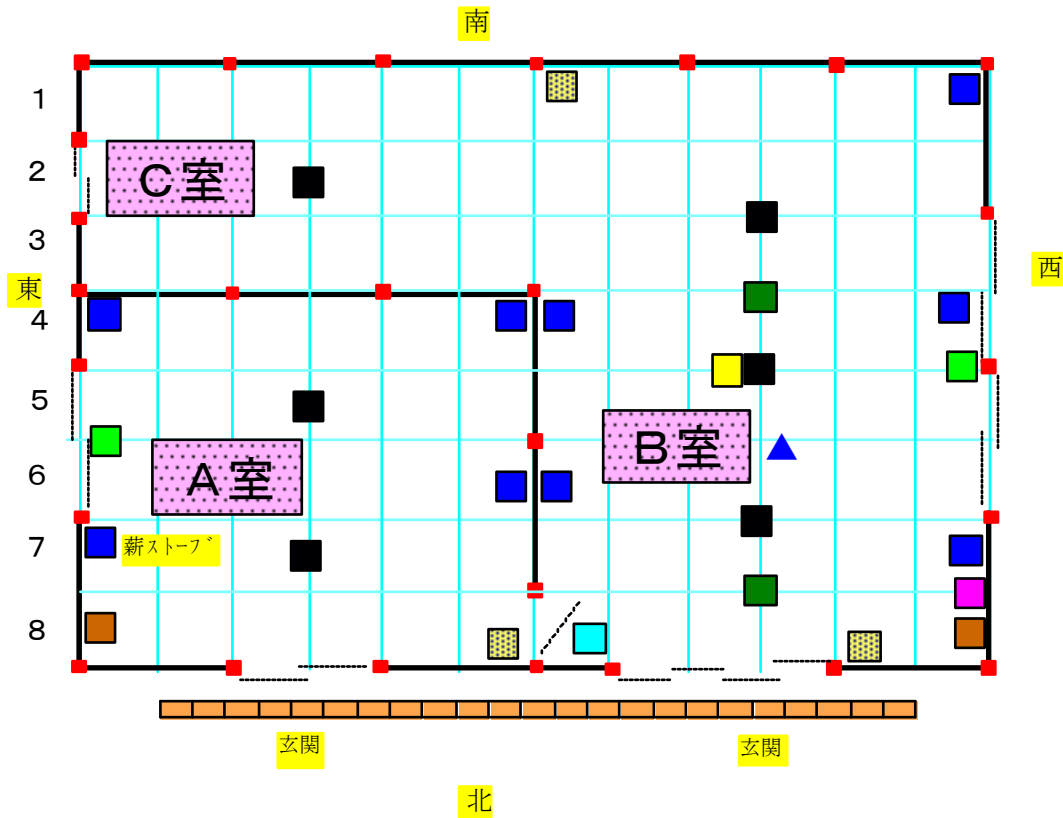
北からみた姿図

樗風舎 第⑰設計図

2015/07/19 住職設計完了

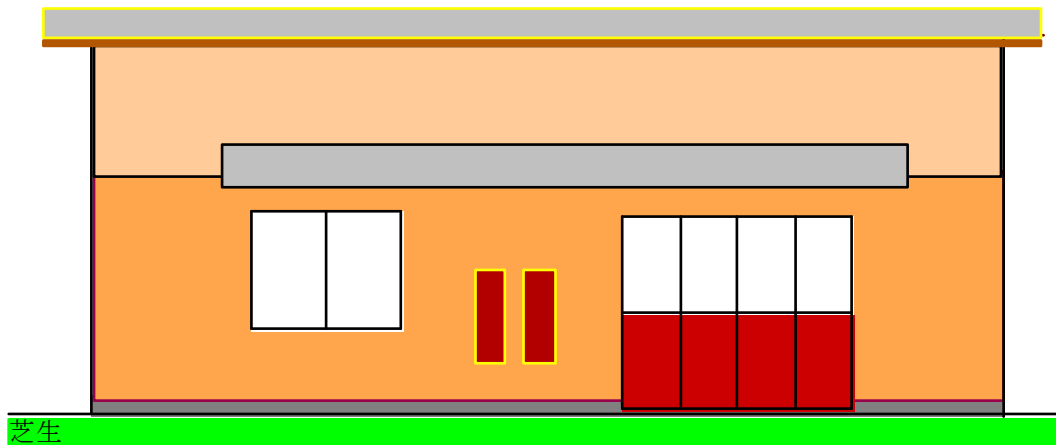
2015/10 外装工事完了

2018/08/27 A室床張り工事開始



分電盤の六系統の分け方

- 1 : 全館の照明電源 (A・B・C)
 - 2 : A室・C室のコンセント電源 (A室埋設電源をふくむ)
 - 3 : 予備
 - 4 : エアコン電源
 - 5 : B室の工作機械電源 (B室埋設電源をふくむ)
 - 6 : B室の工作機械電源
- 5・6の系統は、女性や子供が工作機械をさわった時に作動しないように、ふだんは分電盤の電源をOFFにしておく。
- 限られた人が工作機械を使用する時だけ、分電盤の電源をONにする。



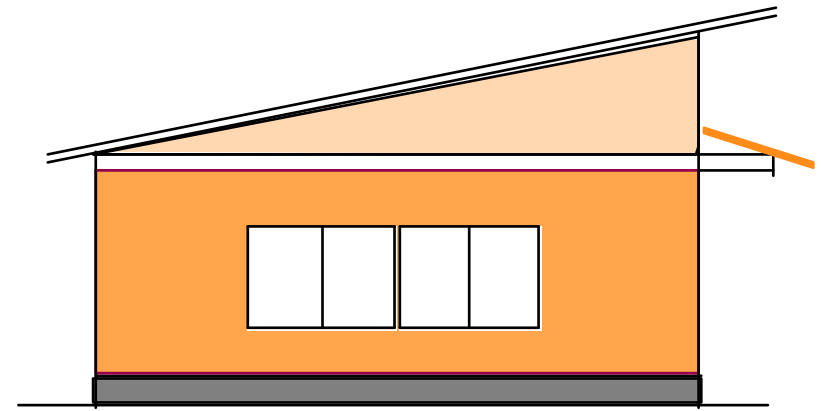
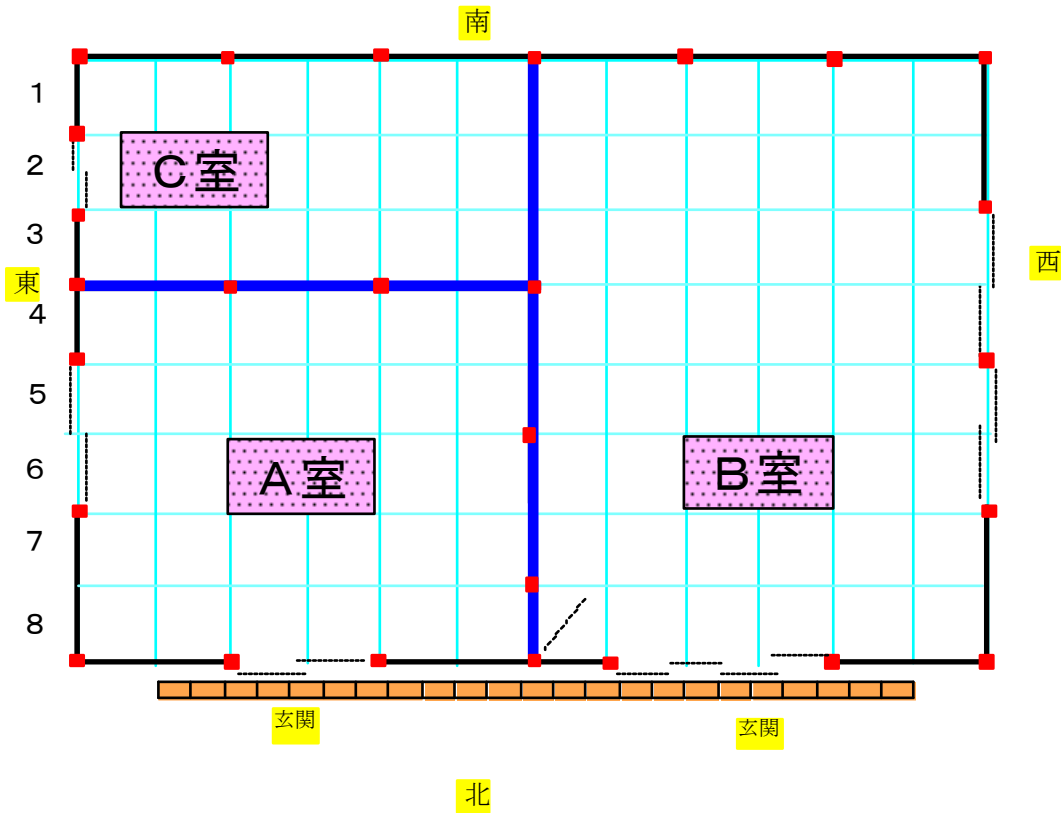
北からみた姿図

樺風学舎 第⑰設計図 照明・電気配線図

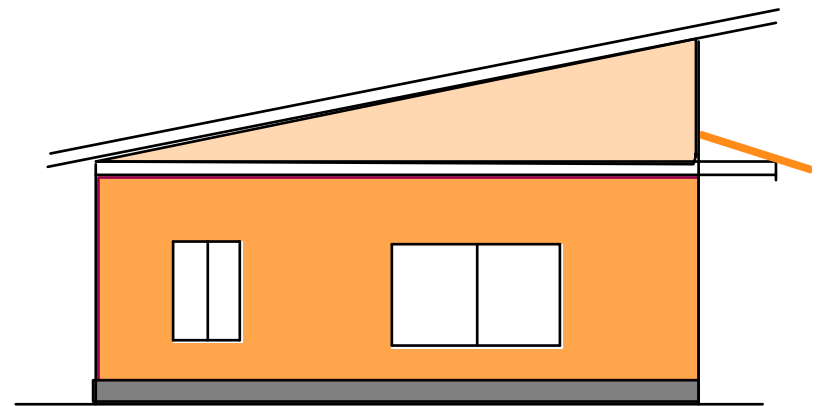
- 分電盤
- 天井照明
- 壁照明
- 壁換気扇
- 壁コンセント
- 天井コンセント
- 天井扇
- ▲ 床埋設コンセント
- エアコン予備電源
- 電源スイッチ場所
- ◎ 予備：単相200V

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

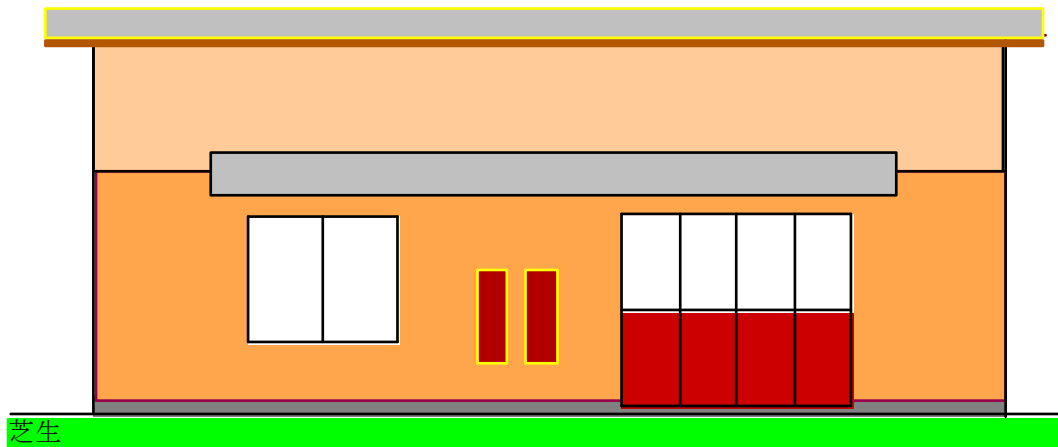
8 7 6 5 4 3 2 1



西からみた姿図



東からみた姿図



北からみた姿図

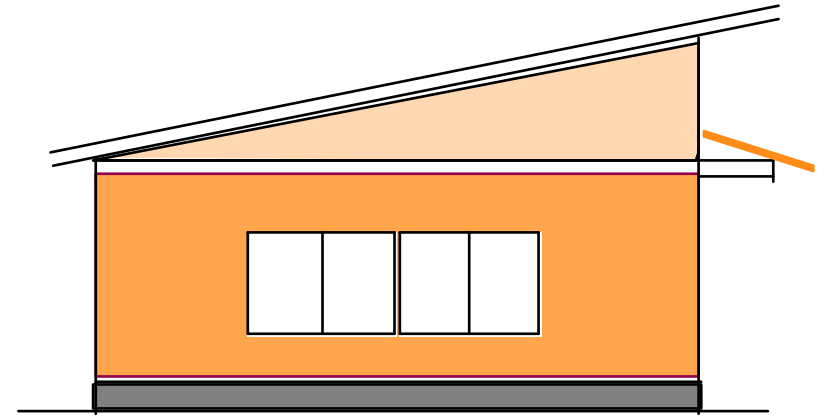
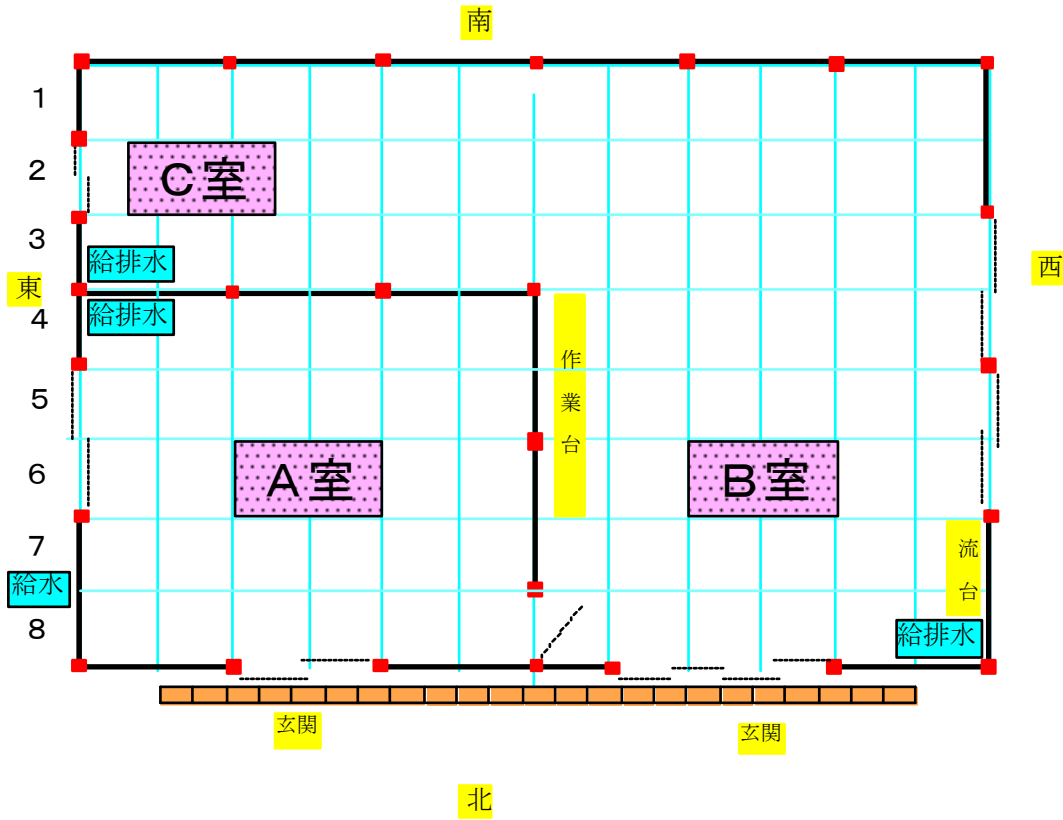
樺風学舎 第⑰設計図

コンクリートアンカー敷設図

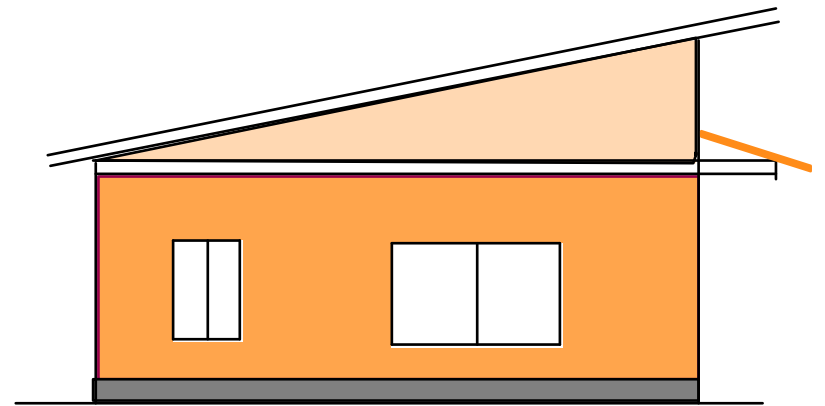
— 線上900mmおきに埋設 深さ100mm

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

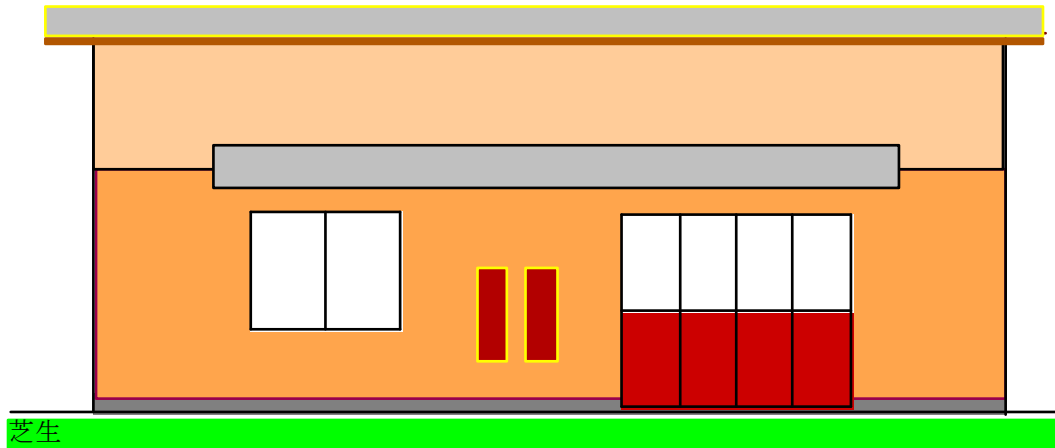
8 7 6 5 4 3 2 1



西からみた姿図



東からみた姿図



北からみた姿図

櫛風学舎 第⑰設計図

給排水配管位置図

櫛風舎建築構想

第1期外注工事について

- 1) 用途 正定寺備品・書籍倉庫
櫛風舎 出版業務拠点
災害支援備蓄基地
木工&陶芸工房
- 2) 木造・片屋根造り・断熱材
- 3) 外装・耐火外装板・断熱材
- 4) 内装A室・真壁（柱：桧4寸角）内装をふくまず
B室・大壁・南側のみ石膏ボード貼りまで
- 5) 上下給排水・電気・ガス・エアコン・換気扇配線は済ませる。
- 6) 竣工検査終了後にA室天井貼り工事（材料支給）
- 7) 北側の出入口は、A室・B室、別々に外側から施錠・開閉できる独立室としてもつかえるようにしたいです。
- 8) 外壁 色変更 軒天の塗料変更
A室 入口引き戸 を 窓に変更
ケーブル・LAN予備配線 配管

手持ち材木リスト

1) 五寸角杉	4 m	1 1 本
2) 四寸五分角杉	4 m	1 本
	3, 1 m	1 本
3) 四寸角杉	4 m	5 本
4) 三寸五分角杉	4 m	4 本
5) 三寸角杉	4 m	2 5 本
6) 五寸寸×四寸五分	6, 1 5 m	1 本
7) 太鼓梁杉	5 m	2 本
	4, 2 m	3 本
	3, 1 m	1 本
	2, 1 m	8 本
8) 杉丸太木材	6, 2 m	4 本

「製材すりなおし」で使う木材のほかに、今回使わない太鼓梁は、板材（45mm）にわいてほしい。
ケヤキの2.5m材もわく（45mm と 60mm）

杉・檜の角材・板材がたくさん残っている。
残材をむだなく活用してください。

※ よく見えない材もありますので、運び出しながら寸法・状態を確認してください。

※ 桧太鼓梁 3, 1 m 4 本